

岩手・宮城の味 仮設商店街競う

気仙沼でグルメ大会

岩手、宮城両県の六つの仮設商店街が参加する「復興グルメF-1大会」が20日、気仙沼市南町の仮設商店街「南町紫市場」であった。地元食材を使ったアイデア料理を販売して人気を競い、紫市場を運営するNPO法人気仙沼復興商店街が考案した「気仙沼サンマティーヤ」がグランプリに輝いた。

各商店街が1品300円で販売。各300食がほぼ売り切れた。来場者は気に入った料理の箱に割り箸を入れて投票した。

グランプリのサンマティーヤは、気仙沼産サンマの甘露煮や野菜をハン生地で包んだ料理。商店街の飲食店などが協力し考案した。



2位には、タコフライを三陸さんさん商店街)が選のせた「タコカレー」(南ばれた。3位の汁料理「大

各地の味を楽しもうと、市内外から大勢の人が訪れた復興グルメF-1大会

船渡さんまはつとう」(おおふなど夢商店街)は、サンマのつみれをすいとんで包んだ。

全種類を食べ比べる人も多かった。気仙沼市の主婦(64)は「立ち直ろうと頑張る商店主らの姿に元気をもらった。おなかもいっぱいになった」と満足そうに話した。

復興グルメを育て、各商店街の集客につなげようと、気仙沼復興商店街と岡山市の復興支援団体が主催した。各地持ち回りで継続的に開催する方針という。同商店街の坂本正人さん(56)は「グランプリは名誉。商店街の交流を通じ、他地域のまちづくりや商売も参考にできる」と語った。

おいしい料理 復興の力